

上田市教育委員会 11月定例会会議録

1 日 時

平成30年11月14日(水) 午後3時09分から午後3時46分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

委 員

教 育 長	峯村 秀則
教育長職務代理者	北沢 秀雄
委 員	平田 利江子
委 員	横関 妙子
委 員	綿谷 憲一

説 明 員

中村教育次長、池田教育参事、石井教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、青木丸子地域教育事務所長、宮崎真田地域教育事務所長、宮越武石地域教育事務所長、深町丸子学校給食センター所長、竜野中央公民館長、滝沢西部公民館長、滝澤市立博物館長

1 あいさつ

11月は、各小中学校では人権同和教育に重点を置く時期である。各学校では人権月間、人権教育月間、なかよし月間などと名前を付けて取り組んでいる。社会教育施設である公民館では1年中人権研修を続けていただいている。人権教育は時を選ばず、いつでも心掛けなければならない大事なことである。学校、社会でも人権教育は大切にしていかなければならない。また、関係部署においても職場内人権があると思うので、それぞれの部署でお互いの人権を尊重するような職場にしていきたい。

2 協議事項 なし

3 報告事項

(1) 上田市公民館運営審議会委員の委嘱について(中央公民館)

資料1により竜野中央公民館長説明(要旨)

はじめに、市の審議会委員については、庁内の審議会等附属機関委員選考委員会に諮ることとなっており、公民館運営審議会の委員については任期の関係により、10月31日に委嘱を行うため、10月23日開催の選考委員会に諮ったものであることをご了承いただきたい。

各公民館の運営審議会委員については、資料1の名簿に記載のとおりである。中央公民館は一括して共通する箇所から選考にわたって選任の基準を中心にご説明したいと思う。まず共通する箇所だが、公民館運営審議会については、社会教育法及び上田市の公民館条例に基づいて旧公民館それぞれに設置している。次に、委員には公民館の事業企画の実施、事業内容の評価、公民館運営のやり方、検討がある。これについては、各公民館9館の共通テーマというものを設け、前回は信州型コミュニティスクールにおける公民館の役割を設置して、各公民館において委員さんのご意見を伺った。その結果、各公民館において、学校の現状を踏まえながら具体的なご意見をいただき、職員の向上や、具体的な事業につながった。こうしたことから今回も全館に共通するテーマとして、例えば、現在上田市が推進している地域内分権を踏まえて、地域づくりにおける公民館の役割について諮問したいと考えている。続いて共通する項目としては、会議の回数として年2回から4回開催している。任期については、委嘱の日から2年間となっており、先ほど申し上げたとおり平成30年10月31日委嘱したので、平成32年10月31日までの2年間となっている。次に委嘱する委員については、公民館条例で各公民館に委員が5名以内をもって組織をすることになっている。さらに委員は学校教育、社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験者の中から教育委員会が委嘱することになっている。こうした選任の基準として、1点目は、学校関係者がいない場合には、団体推薦と個人依頼があるが、これが偏らないように2:3、あるいは3:2の割合にして構成するようにしている。2点目は、必ず校長会からの推薦があること。これについては公民館が信州型コミュニティスクールを支援する立場であるので、校長会からも選任していただくことになっている。3点目は、地域代表に入ってください。住民自治組織、地域協議会から団体推薦をお願いし、もし推薦がいただけない場合は、自治会長と地域を代表する方から個人依頼の形でお願いしている。これについて9館全体の人数の割合は、女性が全体の49%、団体推薦で約42%、個人依頼が47%、公募が11%である。期数では、3期の方が22%、2期の方が40%、1期の方が38%であり、さらに年齢構成で60才以上の方が47%、60才未満は53%である。比較的バランスのとれた構成となっている。

○質疑 なし

○全員了承

(2) 「第13回人権を考える市民のつどい」実施報告(生涯学習・文化財課)

資料2により唐澤人権同和教育政策幹説明(要旨)

10月3日午後1時30分からサントミュージゼ大ホールにて「第13回人権を考える市民のつどい」を開催した。関係する市民団体や一般の市民の皆さんにご参加いただいた。オープニ

ングセレモニーのハンド・イン・ハンドに続き、市民へのアピールでは「認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人」の生徒の皆さんによる合奏発表と創作ダンスを披露していただいた。また講演会では、テレビ、新聞、雑誌などで幅広く活躍されている姜尚中（カン・サンジュン）さんを講師にお招きし、『「共生・共苦・共楽の社会」～私の体験から～』の講演をいただいた。講演の要旨は資料2に記載されている内容で、ハンセン病、男女平等、LGBTとさまざまなテーマに触れながら、自身の体験をもとに写真を交えてご講演いただいた。また、日本社会には差別や偏見もあるが、共に生きようとする力がある。過去の歴史を語り継ぎながら、「共生・共苦・共楽」の精神で生きていってほしいと語られた。参加者によるアンケートには9割の方が、満足・まあまあ満足と回答されており、自由記載欄でも良かったという感想が多く、好評だったと思う。なお、参加者数は約1,500人であった。次年度以降も、多くの市民が人権を考える機会となるよう工夫しながら、人権意識の向上を図ってまいりたいと思う。

○質疑 なし

○全員了承

(3) 「文化財 de 文化祭 in 旧宣教師館」の開催について(生涯学習・文化財課)

資料3により小林生涯学習・文化財課長説明 (要旨)

文化財の活用モデルとして、「文化財 de 文化祭」は平成27年度から行っており、今年度で第2回目となる。事業の概要については、平成30年度12月15日(土)、旧宣教師館(市指定文化財)にて、フラワー工房によるフラワーアレンジメント教室及びカメラマンによる作品の撮影教室を行う。時間は午前9時から11時まで、午後1時から3時までと、2回に分けて行う。定員は各回20名、見学は自由で、参加費は教室参加する場合は2,000円徴収する。11月16日号の広報、市ホームページより募集し、応募人数が多かった場合は抽選を行う。

○質疑

○横関委員

見学は自由ということだが、一般の方は100円徴収すると思うが、この日は無料なのか。

○小林生涯学習・文化財課長

この日限定で無料とさせていただきます。

○全員了承

(4) マラソン大会・駅伝大会実施報告(スポーツ推進課・武石地域教育事務所)

資料4により池田スポーツ推進課長説明 (要旨)

第32回上田古戦場ハーフマラソン実施報告について、平成30年10月7日(日)に開催した。コースは例年のとおり、県営球場の前をスタートし、青木村方面を折り返し、県営球場をフィニッシュする5コース、12種目にてご参加いただいている。今回、ゲストとして東洋大学在学中、箱根駅伝で4年連続5区区間賞を取られた柏原竜二さんをお招きして、途中まで伴

走していただいた。また、県営球場に戻ってからも休むこともなく撮影、サインをしていただき、参加者の感想でも柏原さんについて語られていた。参加人数については申込者数になるが、2,111名と前年並みの状況であった。結果については資料4のとおりである。

資料4により宮越武石地域教育事務所長説明（要旨）

第29回ともしびの里駅伝大会実施報告について、平成30年10月28日(日)に武石ともしび博物館前をスタートし、7区間25.1kmのコースで開催された。今年度のゲストについては招待しなかった。参加チームは87チーム(オープン参加4チーム)中、初参加のチームが12チームあった。また、登録選手数は829名、実際に走った方は609名である。その他、以前から要望のあった、インターネットからの参加申し込みを導入し、それに伴い参加料を1チーム1,000円増額とした。来年度は30回記念大会となるので、武石地域総合センターの建替えに伴い、メイン会場を武石体育館の駐車場に移転し、コースの一部を変更するなど、昨年から実行委員協力のもと取り組んでいく予定である。

○峯村教育長

古戦場ハーフマラソン、ともしびの里駅伝大会の実施報告について質問等お願いしたい。

○質疑

○北沢委員

ともしびの里駅伝大会の参加費について、小学生、中学生のチームからも参加費を徴収しているのか。インターネットからの申し込みで、どうして1,000円増額になったのか。逆にインターネットを利用すれば参加費が下がると思うのだが。

○宮越武石地域教育事務所長

のインターネット申込みについては、1人の登録料につき100円の金額が発生してしまう。インターネットは大変便利な分、こちら側では登録料が100円負担になってしまうので、皆さんには通知を出して了承をいただいている。インターネット以外でも申し込みができることも周知している。

○北沢委員

インターネット以外でもよろしいのか。

○宮越武石地域教育事務所長

可能である。の小中学生からもいただいている。申込時に保護者からの承諾がないと受付られない旨を謳っており、保護者から徴収いただいている。

○峯村教育長

1,000円増額とあるが、もとはいくらなのか。

○宮越武石地域教育事務所長

7,000円から8,000円になった。

○全員了承

(5) 第3回あたま・からだ健幸フェアの開催について(スポーツ推進課)

資料5-1により池田スポーツ推進課長説明(要旨)

上田市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会開催の事業として、10月定例会の重点目標でも申し上げている第3回あたま・からだ健幸フェアで、元テニスプレイヤー杉山愛さんのお母様でもあるテニスコーチの杉山芙紗子さんをお迎えして「地域社会とスポーツで育む人間力」のご講演をいただくことになった。11月23日(金・祝)、丸子文化会館小ホールにて午後1時30分開演で行う。はじめに健・幸体操を行っていただいた後に、杉山芙紗子さんの講演をいただくことになるので、ぜひ多くの方にお越しいただきたい。

○質疑 なし

○全員了承

(6) 第82回国民体育大会協議会場地選定結果について(スポーツ推進課)

資料5-2により池田スポーツ推進課長により説明(要旨)

7月上旬にソフトテニス、ラグビーフットボール競技の2つを上田市で開催したく、長野県教育委員会事務局へ申し込みをした。経過としてさまざまなヒアリングの実施、10月には県準備委員会総務企画専門委員会による競技会場第1次選定(案)の提案・審議・承認をいただき、11月9日に県準備委員会常任委員会による競技会場第1次選定(案)(承認後)の審議・決定(内定)をいただき、県準備委員会総会において競技会場地選定状況(第1次内定分)の報告をいただいたところである。結果として、上田市においてソフトテニス、ラグビーフットボールの競技全ての種目に選定されることとなった。次に裏面の資料をご覧いただきたい。県内市町村の状況を載せている。全体で14競技が11市町での開催が今回決定された。上田市は3番目に記載があり、ソフトテニスについては全種別上田市で新しく造るテニスコートでの開催となる。またラグビーフットボールについては、同様に全種別サニアパーク菅平で開催されることが決定された。なお、総合開閉会式の開場は松本平広域公園陸上競技場、やまびこ国体を行った会場で再度開催されることが決定された。

○峯村教育長

競技会場地選定結果について、何かあればお願いしたい。

○質疑

○平田委員

これは第1次選定結果ということで、第2次、第3次と上田市で行われる競技が増える可能性があるということか。

○池田スポーツ推進課課長

全種目36競技プラス、デモンストレーション競技がある。最終的に平成32年度に全て決めるスケジュールであると聞いている。今回は第1次であるが、第2次については資料の下に記載がある「4 今後の日程」に来年の6月、また、第3次、第4次とそこが決まらなければ第4次、第5次とやっていく。再度、上田市の方にこの競技をお願いしたい話がある。すでに何件か来ているところだが、それについて正式な形でご要望をいただいた段階で、受けられるものは受けていくことになると思う。

○全員了承

○峯村教育長

(7)から(11)まで資料の説明はないが、質問、ご意見があったらお願いしたい。

(7)第46回ふれあい・人権のつどい(丸子地域教育事務所) 説明なし
資料6

(8)寄付の状況(学校教育課) 説明なし
資料7

(9)行事共催等申請状況について(学校教育課、生涯学習・文化財課、スポーツ推進課)
説明なし
資料8-1、8-2、8-3

○質疑

○平田委員

資料8-2、No68、新しく申請された「みんなのしおだ食堂」について。申請趣旨である「子どもの孤食防止や居場所づくり」は、現代社会において喫緊の課題である。行政や学校などの連携が必要不可欠と思うが要望も踏まえてお伺いしたい。

○小林生涯学習・文化財課長

「みんなのしおだ食堂」は、地域の皆さんから声が上がって塩田公民館を主会場として行っている。今回の子育て・子育て支援課も含め、協力できることは協力しましょうということで今回は後援をしている。上田市の後援も入っているので市長部局とも連携しながら進めていきたい。

○平田委員

上田市内でもいくつかの団体が子どもの居場所づくりとして学習支援や食の提供などの活動をされているが、地域、行政、学校、それぞれの立場から連携を深め持続できるようお願いしたい。

(1 0) スポーツ関係市長表敬訪問について(スポーツ推進課) 説明なし

資料 9

○全員了承

(1 1) 公民館だより(各公民館)

資料 1 0 により滝沢西部公民館長により説明(要旨)

「西部地域まちづくりの会、設立記念行事」について、西部地域の住民自治組織として6月26日(火)に発足した「西部地域まちづくりの会」が設立記念行事として、地域の先人でもある山極勝三郎先生を偲び、映画上映会と映画プロデューサー永井正夫氏による「映画製作秘話」の講演会を開催することになった。日時は12月1日(土)、午後1時30分から、場所は西部公民館大ホールで行う。申込不要で入場は無料であり、どなたでもご参加いただけるので多くの方にご覧いただきたい。

○質疑

○横関委員

中央公民館だよりだが、みんながわかる防災ワークショップは外国籍の方をメインに行われると思うが、主催が上田市多文化共生推進協会とあるがどのような協会なのか。

○竜野中央公民館館長

この協会は市民課に事務所があり、外国籍の方たちの市民参加を展開している。

○横関委員

何年間かやっているのか。

○竜野中央公民館館長

私を知る限りでは5、6年は組織として展開しており、毎年かなりの人数に拡大している。

○横関委員

これからも外国籍の方が十分に増えていくと思うので、このような活動を各公民館で取り上げていただきたいと思う。

○竜野中央公民館館長

外国籍の方だけでなく、地域の自治会をとおして地域の役員さんにも参加していただきたいと思う。

○全員了承

4 その他

(1) 博物館の活動について (市立博物館)

資料より滝澤市立博物館長により説明(要旨)

市立博物館は、文化財保護法と博物館法の理念に則り、さまざまな歴史に限らず、例えば、史跡資料等を収集し、保存し、活用し、利用者の皆さまに還元していく。また、市立博物館等に市民の皆さんと協働を進め、次世代を担う子どもたちにとって「ふるさと上田」を感じることができるよう環境づくりを目指して活動している。施設概要については、昭和4年に開館し、非常に古い歴史を持っている博物館である。博物館は本館・別館のほか、信濃国分寺資料館、丸子郷土博物館の4館からなっている。課題としては老朽化していることで、今後、建替えになってくる可能性もでてきている。本館・別館は戦国時代以降、江戸時代を経て、近現代に至る広い歴史範囲を展示・紹介している。また上田城櫓(南北櫓・本丸東虎口櫓門)の公開と運営も博物館が行っている。役割分担として信濃国分寺資料館は、古代からの「考古資料」を中心に活動している。丸子郷土博物館は、旧丸子町時代からの運営を引き継ぎ、国指定史跡の「鳥羽山洞窟」出土品をはじめとする依田窪地域の資料を中心に、特に「蚕糸業」について常設がある。現在は、来年度中に開館予定の公文書館との併設によるリニューアル工事を進めている。

本年度の活動について、「上田城三の丸発掘調査報告展」は今の原町の大手門の近くにマンションが建つことになり、それに伴って先行発掘した報告を行った。これは生涯学習・文化財課の協力による開催である。「信之のまちづくり 金井家文書にみる真田氏の藩領統治」夏期企画展では、大河ドラマにある「真田丸」に出てきたような有名な人たちが残した文書が金井家文書であり、物によっては直筆の文書を公開した。ただ、古文書を並べただけではなく、本展では、「史料 活字化 読み下し文 現代語訳 解説」といったプロセスを明示して、初めての人でも判り易く展示している。「白雄と旅」秋季企画展では、上田ゆかりの俳人・加舎白雄を紹介している。白雄は上田藩士の息子として生まれ、与謝蕪村よりも有名であり、江戸中期におこった中興俳諧運動、松尾芭蕉風俳諧の真の復興を目指した運動の中心人物である。来年3月には「お雛様展」で上田ゆかりのさまざまなお雛様を展示して、春にふさわしい華やかな空間をご覧いただきたいと思っている。補足として、先ほど山極勝三郎先生の話があったが、10月のノーベル賞ウィークで全国放送の「歴史ヒストリア」という番組で世界初の人工癌をつくった男として放送された。それに併せて山極勝三郎記念室があり、そこへ展示物を変えたり、脚注をつけたりなど展示を行った。常設展では、上田城は松本城に比べると物足りない所があるわけだが、櫓体験と博物館をセットで見ただけだと十分な満足を得ていただけると思う。

その他の常設展は、「仙石・松平氏」「上田城下町」「庶民の暮らしと文化・農民一揆」「赤松小三郎や山極勝三郎ら偉人先哲」「天蚕業などの上田近現代」等々を広く紹介している。その他、生涯学習の支援として、「古文書講座」「博物館講座」、史跡めぐり・研修旅行も行い、展示してあるものが歴史の全てではなく、現場に行ってもその雰囲気を楽しむこともある。さらに子どもたちへの歴史の面白みを積極的に紹介し、夏休みの自由研究等も個別に対応している。

○峯村教育長

ただ今の報告に対しての意見、質問等お願いしたい。

○質疑

○横関委員

館長の熱意ある説明が大変良かった。行政チャンネルには出ているのか。

○滝澤市立博物館長

新人の学芸職員にも積極的に活動してもらうため交代で出ている。

○峯村教育長

それでは以上をもって11月の定例会を終わりにする。

全委員 了承

閉会

教育委員会会議規則第 2 1 条の規定により署名する。
